

右脳の働く0歳が決め手

感動の七田式ドッツ

七田 眞

生まれた赤ちゃんが心身ともに健やかな、賢い子に育て欲しいと、
親の誰しもが願っています。

赤ちゃんが賢く育つかどうかは、決して生まれつきではなく育て方次第——。
とりわけ右脳が働く0歳の時が決め手になるのです。

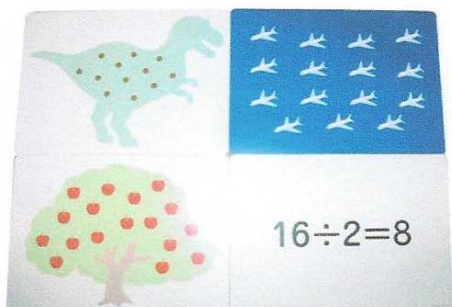
赤ちゃんは、生まれた時の頭脳は白紙どころか、人間一生のうちで最も優れた
コンピューターのようなすごい能力を持っているのですが、親がそのことに気づかず
ほっておくと8歳を過ぎる頃になると、その天与の能力は失われてしまいます。

ドッツについて体験談 コネッチカットに住んでいたN・Mちゃんのお母様からのお話

「赤ちゃんはみんな天才、七田眞先生の本に書いてある通りのことがおきました。3ヶ月過ぎから、七田式ドッツをポツポツ始めて、63日プログラムが終了する頃7ヶ月を過ぎていました。恐る恐る、どっち遊び（例えば $8+9=17$ と言って答え17と23のドッツカードを見せて17はどっちと言います）をすると、足し算、引き算、掛け算、割り算、混合算、全て答えのドッツカードをニコニコ笑いながら直ぐに取りに来ます。これにはびっくり、感動して涙がぽろぽろ出て子どもを抱きしめてやりました」

右脳的に見ると当然のことです。ドッツは教え込むのではなく、人間の頭に全て組み込まれているのだそうです。

毎日10枚のドッツカードを1~10までの整列ドッツをフラッシュして一回見せるだけです。次の日は6~15までのカードをずらして見せます。とても簡単でお家でできます。



ドッツカード

詳細はウェブサイトをご覧ください

nyshichida@yahoo.co.jp

フ 七田 眞
ロ 教育学博士
フイ 七田チャイルドアカデミー校長
ール しちだ・教育研究所会長
日本航空学園顧問



(914) 667-4671